

委員会による実施事業報告 (令和7年4月1日～8年3月31日)

常置委員会	実施事業	実施時期	概要
表彰委員会	AACA賞の表彰事業	通年	応募要項作成、7月1日応募開始、9月6日応募締切、9月29日一次審査、現地審査を経て11月13日公開審査・AACA賞他決定
	表彰及び授賞式の実施	12月10日	設立総会にあわせて表彰式を実施
	AACA賞応募作品紹介誌の刊行	1月30日	表彰式の後資料編集・校正を経て印刷・発送
情報文化研究委員会	定例会(zoom会議) 「市中の山居」～共に生きる時代へ～冊子を制作	毎月第二(火) 20:00-23:00 発刊日2025年5月	2018年東京藝大で行われた「市中の山居」座談会から6年。コロナ禍をへて、研究内容を外部に発信すべく「市中の山居」～共に生きる時代へ～冊子の制作、発刊を行った。 取材先 ・越谷レイクタウン 「レイクピース A様」「元越谷市企画部 0様」 ・柏の葉キャンパス・アクアテラス 「千葉大学・S准教授」「UDCKデレクター東京大学・D教授」 「鹿島建設・設計部M様 計画中案件取材」 ・町田市・高ヶ坂松葉調整池 「町田市役所」「NPO鶴見川源流ネットワーク・F様」 「慶応大学理工学 部・M教授」 *2018年座談会や各取材テープの文字起し・編集・確認を進めた
	七福神巡り (日本橋方面)	2月1日	参加者 11名 コース：東京メトロ：人形町駅集合・小網神社を筆頭に参拝。小伝馬町にて解散した。
文化事業委員会	地域創生Vol.3 連続講演会-3	11月14日	「パーセント for アートで地域創生を目指す街」群馬県 「動き出したパーセントフォーアート」群馬県 登壇者：佐藤貴昭(群馬県地域創生部長) 「建築とアートが活きるまちづくりが地域創生を動かす」 登壇者：山重徹夫(アートディレクター)
フォーラム委員会	第209回 aacaフォーラム	6月27日	「都市のダイナミズム 東京ダンジョンdungeon体験」 地上の歩行者ネットワークが緑に溢れアートも共存し魅力的な大丸(大手町・丸の内・有楽町)エリアは、実は地下歩行者ネットワークも充実していて、大手町の端から銀座のGINZA SIXや歌舞伎座や日比谷エリア、八重洲の東端の京橋まで、雨でも濡れることなく往來することが可能で、丸の内ダンジョンとも東京駅ダンジョンとも呼ばれマニアの涉獵エリアともなっている。地下の賑わいがあり、地上との結節点があり、アートと共生する場がありながら、通常は目的地までの経路でしかないこのダンジョンを、端から端まで広く散策し、「北町奉行所から南町奉行所まで」をサブテーマに歴史のレイヤを紐解きながら、都市のダイナミズムを体感する企画。 【講師：萩尾 昌則(フォーラム委員会)】
	第210回 aacaフォーラム	10月27日	「Aalto Talks in JAPAN」 フィンランドのエヴァスキュラ市にあるアルヴァ・アアルト設計のセイナツァアロの町役場で「Aalto Talks」というガイドツアーに取り組みされているPeter de GrootさんとAnnika Vandeveldeさんご夫妻をお招きした講演会。「アルヴァ、アイノ、エリッサ・アアルト 建築とデザインにおける人間的アプローチ」と題し、アイノ&アルヴァ、そして後にエリッサ&アルヴァの密接な協働関係がいかにして20世紀西洋建築とデザインを代表する象徴的作品の数々を生んだのか、について、1920～30年代のモダニズムを人間的で自然と調和する建築へと転換させたアアルトたちの取り組みを掘り下げ、アルヴァ、アイノ、エリッサの三人の協働プロセスに迫り、アアルトたちの個性や才能、ヴィジョンがいかに融合し、建築・家具・ガラス工芸といった象徴的な作品を生み出したのか、が語られた。 【講師：Peter de Groot/Annika Vandevelde】
	第211回 aacaフォーラム	1月25日	「虹色キューブ制作ワークショップ」 展覧会委員会で同時期に開催する作品展と連携した企画。作品展を機会に上京する地方会員を含め、aaca会員に会員相互の交流を広げる場として「ワークショップ形式」のフォーラムを開催。 光を操るアーティスト宮崎桂一さんが創る「虹色キューブ」は、TikTokやInstagramなどを通じ、見る角度や時間帯によって変化する光の表情ゆえに、透明素材と自然光が織りなす色彩の魔法として国内外で注目を集めている。 私たちの見回りの多くの「色」は、テレビやスマホは「光の三原色(RGB)」、写真プリントや印刷は「色材の三原色(CMY)」で成り立っているが、その仕組みを実際に体験し、視覚と感覚の両方で理解する機会は少ない。本ワークショップでは、宮崎さんの創作プロセスの一端を体験しながら、その繊細な光の世界を、宮崎さん自身の手ほどきで体験していただく機会となった。 【講師：宮崎 桂一(フォーラム委員会)】

常置委員会	実施事業	実施時期	概要
フォーラム委員会	第212回 aacaフォーラム	3月9日	「都市のダイナミズム 空中回廊体験」 2025/4/5に廃止された銀座の高架道路「東京高速道路」(KK線)の視察(ウォーキング)企画。KK線は銀座の復興と周辺の渋滞緩和のため1966年に開通。全長約2キロメートルで京橋からJR山手線や東海道新幹線の線路沿いに銀座を通って汐留までを、通行料無料で結節。高架下には飲食施設「銀座コリドー」や商業施設「銀座インズ」、企業のオフィスなどが入り、賃貸収入を道路の維持管理費などに充てて運営。PFI(民間資金を活用した社会資本整備)の先駆けとなるプロジェクト。KK線の廃止は、首都高速道路の日本橋区間の地下化に伴いKK線と接続する首都高のルートが変わり、通行量が大幅に減ると見込まれるため。廃止後は高架上を遊歩道として再整備し、歩行者中心の「空中回廊」にする予定。モデルとするのが米ニューヨークの貨物線跡の高架を再生した、景観に優れた公園として世界的に知られ、観光客の人気を集めている「ハイライン」。空中回廊は一部着工し、2030～2040年代の整備完了を予定。観光資源としてのKK線の再生は、東京の玄関口の景色を一変させる。京橋や有楽町で検討される再開発ビルと高架の遊歩道がデッキで接続されるため開発は長期の予定だが、今回は当該スカイウォークを関係者のご厚意で特別に先行体験し、都市のダイナミズムを直接体感する企画。 【講師：東京高速道路(KK線)職員】
会員交流委員会	第19回aaca建物視察会	12月5日 ～6日	奈良・三重地区建物視察会を実施 「奈良国立博物館」同館宮崎課長に、「愛農学園農業高校森館(小谷校舎)」を野沢正光建築工房石黒氏に、「旧上野市庁舎SAKURABASE」をMARU.architecture森田氏に、「榎三輪山本本社」を同社山本常務に、「奈良ホテル」を同社津川氏にご案内頂く。また大和文華館、松柏美術館、佐伯邸、俳聖殿を視察(参加者：42名)
表彰委員会+会員交流委員会	第57回aaca芦原義信記念杯 (特別企画) 第2回 AACAA賞受賞 建物視察会	2月6日 10月7日	東名カントリークラブにて開催(参加者：17名) 安田幸一氏、安東直氏、村井久美氏のご案内による「ポーラ青山ビルディング+土浦亀城邸(第34回受賞建物)」(参加者：29名)
会員増強委員会	委員会開催	隔月	aacaサロン企画、新入会員紹介、他
	「aacaサロン」開催	年2回	2025.4.15 【第15回】現代の仏像と、その役割(江口泰観・松本哲弥) 2025.8.06 【第16回】サウンドスケープ・デザイン～風景に耳を開く～(庄野泰子・石原智也)
総務委員会	定時総会	6月11日	法人・個人会員114名にて建築会館大ホールにて開催。戸田建設の河野利幸様に「京橋とともに活き続ける新本社 TODA BUILDING」と題してご講演頂いた。
	夏季交流会	8月25日	法人・個人会員計53名にてアリスアクアガーデンにて開催。新入会員の皆様の自己紹介と各委員会紹介を行い、懇親を深める事ができた。
	設立記念総会	12月10日	法人・個人会員計118名にて建築会館大ホールにて開催。AACAA賞の入選作品の説明映像の映写と、各賞の表彰式を執り行った。
	新春のつどい	1月30日	法人・個人会員計62名にてアリスアクアガーデンにて開催。新入会員の皆様の自己紹介と各委員会紹介を行い、懇親を深める事ができた。

常置委員会	実施事業	実施時期	概要
広報委員会	会報101号発行	5月28日	<ul style="list-style-type: none"> ■OPINIONS：共鳴 [7] 共鳴を誘う「美しさ」、クリエイティブは美意識を礎に／松井龍哉 ■特集：AACA賞 ■七福神巡り2025 [情報文化研究委員会]／古谷誠章、東條隆郎 ◎ [第34回AACA賞] クライアントの立場から：アートは感受性のスイッチ／横手喜一 ◎ [リ] 建築家の立場から：建築とアートが溶け合う関係をつくる仕組み／安田幸一 ◎ [リ] アート・ディレクターの立場から：ポーラ青山ビルディング アート・プロジェクト／村井久美 ■素材を知る [4] 繊維 タペストリーからファイバーアートへ／中野恵美子 ■ 2025年aaca新春の集い [総務委員会]／中野恵美子 (委員) ■第1回aaca建築・美術・工芸作品展 [展覧会委員会]／飯田郷介、齋藤卯乃、岡本直枝 ■第208回aacaフォーラム：パブリックアートの今 [フォーラム委員会]／市村陽子 ■『市中の山居—共に創る時代へ—』発行にあたり：本研究の意義を振り返る [情報文化研究委員会]／高橋圭太郎 ■パーセントフォーアートを知ろう [パーセントフォーアート研究委員会]／高橋章夫 ■私が思うaaca的空間 ◎アクティビティとの出会い／近田玲子 ◎ルイジアナ近代美術館／山本茂義 ■協会ニュース
	会報102号発行	9月17日	<ul style="list-style-type: none"> ■OPINIONS：共鳴 [8] 感覚的につながる芸能—能楽／宝生和英 ■素材を知る [5] ガラス 媒体としてのガラス／平山健雄 ■令和7年度定時総会 [総務委員会]／小谷純造 ◎令和7年度定時総会 一會長挨拶／東條隆郎 ◎役員、委員会紹介 ◎街に開かれた「アートを実践するオフィスビル」／小林彩子 ■第15回aacaサロン：現代の仏像と、その役割 [会員増強委員会]／松本哲弥 ■第8回BOX展 [展覧会委員会]／齋藤卯乃 ■第209回aacaフォーラム：都市のダイナミズム 東京ダンジョン体験—遠山の金さんから大岡越前守へ— [フォーラム委員会]／柏尾栄 ■パーセントフォーアートを知ろう [2] 日本におけるパーセントフォーアート制度の可能性を考える／伊藤裕夫 ■私が思うaaca的空間 ◎T邸プライベートオペラホール—建築家、美術家、企業による空間創造—／露口典子 ◎NHK学園／森暢郎 ■協会ニュース
	会報103号発行	1月30日	<ul style="list-style-type: none"> ■ごあいさつ／東條隆郎 ■OPINIONS：共鳴 [9] 人間の生存に欠かせない脳機能領域「美の認知」／中野信子 ■素材を知る [6] 漆 うるわしのちから／齋藤潮美 ■パーセントフォーアートを知ろう [3] 韓国における「建築物美術作品制度」の変遷と展望／関鎮京 ■2025年度 第37回設立記念総会・AACA賞2025表彰式 [総務委員会]／小谷純造 ■ACAA賞2025 (第35回)：公開・最終審査会 [表彰委員会]／可児才介 ■16回aacaサロン：サウンドスケープ・デザイン～風景に耳を開く～ [会員増強委員会]／石原智也 (委員) ■2025年aaca夏季交流会 [総務委員会]／中野恵美子 ■第210回aacaフォーラム：Aalto talks in JAPAN アルヴァ、アイノ、エリッサ・アアルト：建築とデザインにおける人間的アプローチ [フォーラム御委員会]／萩尾昌則 ■地域創生Vol.1.3 3 Vol.1.3 3連続講演会 [文化事業委員会]／木村慶太 ■第2回AACA賞受賞作品視察会2025：ポーラ青山ビルディング/土浦亀城邸 [会員交流委員会]／大草徹也 (担当理事) ■建築美術工芸・よもやま話 [4] 魅力あるaacaになるには？/会員H & 会員K & 会員T ■私が思うaaca的空間 ◎南禅寺水路閣／尾崎勝 ◎フレスコ画のある空間／大野彩 ■協会ニュース

常置委員会	実施事業	実施時期	概要
パーセントフォーアート研究会委員会	PFA講演会	通年	美術家連盟との共同企画 2025.04 山重徹夫氏「群馬のパーセント・フォー・アート」勉強会
	PFA研究・情報収集 制度化への活動	通年	2025.08 第2回 [パーセントフォーアート制度に関するアンケート] 実施 2025.09 群馬県 中之条ビエンナーレ2025 視察 パーセントフォーアート条例が実施されている建築・美術・工芸の歴史的 地域文化の視察 2025.11 第2回 アンケートデータの数値化と会員への開示 2026.01 パーセントフォーアートに関する意見交換 小林真理教授 2026.02 政府への提言骨子案の作成 2026.03 群馬パーセントフォーアート推進条例に基づく施策の視察 敷島公園新水泳場「仮囲いデザイン・アートコンテスト」公開審査参加
	地方自治体との連携	通年	2025.12 群馬県 敷島公園新水泳場「仮囲いデザイン・アートコンテスト」周知協力 2026.02 群馬県 山本一太知事、地域創生部 佐藤貴昭部長 表敬訪問 aaca定時総会での講演依頼 2026.02 横浜市 にぎわいスポーツ文化局 文化芸術創造都市推進部 意見交換
展覧会委員会	第8回BOX展開催	6月8日 ～14日	会員、非会員を対象にした30cm立方に空間提案を広く公募する展覧会の開催
	第2回aaca 建築・美術・工芸作品展 ～会員の協奏～	1月25日 ～31日	出展40点、会場来場者約200名、豊中市、和歌山市、京都府からも応募。 エントランスに会長挨拶パネルとaaca10委員会活動紹介パネルを展示。 食品廃棄物を用いた組み立て可変式茶室の出展や、リサイクル可能な建築写真を立体的に構成したタワーも実現し、設計4社による展示の協奏する場となった。 委員会の催事を作品展前後に開催することにより、来場者のための体験価値を広げ、aacaとしての交流の強化の試みと呼び掛けた。作品展示・ギャラリートーク・講演（展覧会）、体験型ワークショップ（フォーラム）、新春の集い（総務）、景観の検証（情報文化）

特別委員会	実施事業	実施時期	概要
協会賞選考委員会	ACA賞2025（第35回）	7月1日 ～12月11日	応募総数 74作品 表彰作品 15作品 入選4作品 計19作品を現地審査 受賞作品発表 12月11日 受賞作品名は別掲
ReDesign委員会	ホームページの リデザイン	通年	企画運営会議にてリデザインしたしたホームページの確認 以降、補完作業の実施
拡大総務委員会	aacaの持続可能なあり方と会員のVALUEづくりの検討	通年毎月1 回開催	aacaの将来ビジョンの検討 aacaの持続可能なあり方の検討 会員の価値（VALUE）向上の検討

	実施事業	実施時期	概要
事務局	通年業務	通年	月次会計処理 個人情報等会員管理の実施 年会費の收受 会員証の製作・発行業務 協会主催事業等の会計処理 厚生労働省・法務省等 法的窓口等への対応 理事会 通知の作成・送付・收受、出欠の管理・記録 理事会・企画運営会議の議案書・議事録の作成 各委員会主催事業の支援
	定時総会	6月11日	議案書の作成 総会開催通知の作成・送付・收受、出欠の管理・記録 定足数の確認 会員数342名 出席者総数188名（55%） 議案 令和6年度事業報告の審議 " 決算報告の審議 報告 令和7年度 事業計画・予算